

**団体名**

エコビレッジ与作@意馬山（言葉のいらない村）

（美祢市）

代表者名	水元 光代	団体の目的 ・ 森、里山、水田を生活の場としてきた祖先に学び、里山をはじめ自然環境の保全、活用を図るとともに、未来の子ども達へ美しい地球をつなぐ
構成員数	45人	
設立	H28年4月	
問い合わせ先	☎0837-57-0538（西福寺） Mail:goen.8v@gmail.com	

**事業名**

里山環境保全と子ども達の自然体験活動

**事業の目的**

- ・ 里山環境保全整備の一助として、森林、竹林の下草刈りや希少な苔シダ類の保全等を実施する
- ・ 放置水田や畑に作物を栽培することで、自然との繋がりを親子で体験する
- ・ 森林に子ども達の遊び場を作り、集会所としてログハウスを建築する

**事業の内容**

- ①里山保全環境整備  
竹林整備、下草刈り、クヌギ等の伐採など
- ②放置水田等での作物栽培  
さつま芋づくりや水田開墾・稲作
- ③自然体験の提供  
タケノコ堀、ホテル観賞、水遊び、竹細工教室、竹灯籠づくり、自然勉強会

**事業の成果**

- ・ 自然体験イベントを開催したり、環境整備活動を進めていく中で、地区外（遠くは東京、富山、大阪等）からも賛同者が集まるようになり、交流人口の増加が図られた
- ・ 自然体験の中で世代間の交流も生まれ、里山の生活が再現でき、自然との繋がりを参加者とともに感じる事ができた
- ・ 森林の間伐を実施したことで広場ができ、子ども達の遊び場が確保された。貴重な自然体験を提供することが可能となったので今後も活用していきたい

**活動現場レポート！****竹林整備と竹細工づくり体験**

〈H29.10.15／美祢市豊田町西福寺周辺〉

この日は、雨天の中、県内外から約30人が参加され、午前中に竹の伐採、午後から屋内でシュロの葉のバッタづくりや、竹トンボ、ヤジロベエの細工、竹灯籠づくりが行われました。

子ども達にとっては細かい作業の連続で、途中で飽きてしまう場面もありましたが、大人の皆さんは、真剣に集中し、最後まで一生懸命作り上げられていました。

講師の上中さんは、下関市豊田地域の学校でも竹細工を指導されており、ヒシやハスの実を使ったヤジロベエや竹トンボなどの材料も持参され、興味のある参加者に作り方を教えてられていました。最後には、持参の竹トンボを子ども達にプレゼントされ、喜ばれていました。

会では、月数回、誰でも自由に参加できる自然体験の場を提供されており、若い人の参加も多いとのこと。好きなことを、自然の中で生き生きと実践されている様子が印象的でした。



雨の中の竹林整備



竹細工づくりに挑戦